トモニホールディングス株式会社

2026年11月

さあ “トモニ”進もう 次のステージへ

― 個人投資家さま向け 会社説明会 ―

（証券コード：8600）



香川・瀬戸内海に浮かぶ
さぬき広島のいろは石「と」

トモニホールディングス株式会社
代表取締役社長兼CEO 中村 武



©2003 TOKUGIN

「さあ “トモニ”進もう 次のステージへ」は、
トモニホールディングス・第6次経営計画のキャッチフレーズです。



目　次

本日は、投資家の皆さまから寄せられる5つの質問にお答えします。

1.「トモニホールディングス」は、どのような会社ですか。

2.「トモニホールディングス」の成長戦略を教えてください。

3.「第6次経営計画」では、成長を続けるために、どのような手立てを講じますか。

4. 計画は順調に進んでいますか。

5. 株主への還元について、どう考えていますか。

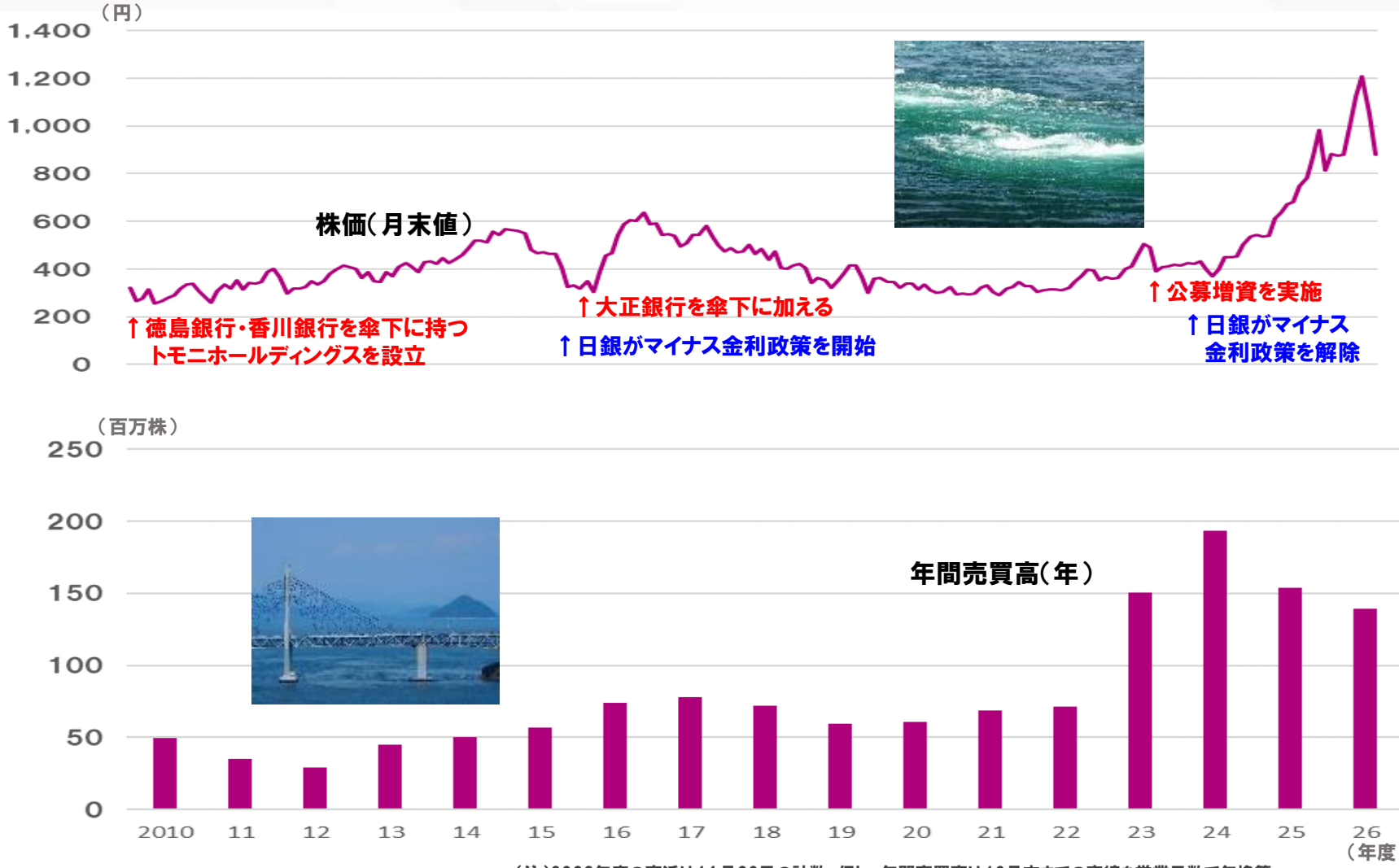
計数は特に断りのない限り、当社連結の計数を記載しております。

は当社又は当社グループの活動、 は徳島大正銀行の活動、 は香川銀行の活動を表しています。

Copyright © 2026 TOMONY Holdings,Inc.

1.「トモニホールディングス」は、どのような会社ですか。

株価は、「金利ある世界」への回帰の下で、24年末頃から「地銀株」の一角として上昇



（注）2026年度の直近は11月20日の計数。但し、年間売買高は10月末までの実績を営業日数で年換算。

Copyright © 2026 TOMONY Holdings,Inc.

1.「トモニホールディングス」は、どのような会社ですか。

徳島大正銀行と香川銀行を傘下に有する銀行持株会社（東証プライム市場・8600）

- ✓ 2010年、地域銀行の銀行持株会社では、**全国で7番目に設立。**
- ✓ **当時としては珍しい「戦略型」の経営統合を志向。**
- ✓ 2016年、大阪に本店を持つ大正銀行が参加（同行は2020年に徳島銀行と合併）
  →「広域金融グループ」へと進化

貸出金残高	預金等残高	当期純利益	連結自己資本比率
3.91兆円	4.80兆円	161.6億円	9.49%

経営統合以降の「成長の足跡」

- ■ **規模の拡大：貸出金・預金等は、2010年度末から約2倍に拡大**
- ■ **利益の増大：当期純利益は、2010年度から2.8倍に増加**
- ■ **健全性の維持：自己資本比率は、概ね横ばい**

残高・自己資本比率：2026年9月末　当期純利益：2026年3月期、成長倍率は経営統合によるものを含む。

Copyright © 2026 TOMONY Holdings,Inc.

1.「トモニホールディングス」は、どのような会社ですか。

銀行子会社・プロフィール（2026年9月末現在）

徳島大正銀行

所在地	徳島県徳島市
創　業	1918年（大正7年）3月3日
店舗数	108店舗（うち出張所10）
資本金	141億円
預金等	2兆5,803億円
貸出金	2兆863億円
従業員数	1,175名
パーパス	人、地域、社会を笑顔で満たす

香川銀行

所在地	香川県高松市
設　立	1943年（昭和18年）2月1日
店舗数	90店舗（うち出張所6）
資本金	141億円
預金等	2兆2,319億円
貸出金	1兆8,401億円
従業員数	968名
パーパス	地域・お客さまを元気にする。



旧本店跡地駐車場を
利用した「夕暮市場　in
徳島大正銀行」



©2003 TOKUGIN



かがわアライアンス
SDGsリレーマラソン



Copyright © 2026 TOMONY Holdings,Inc.

1.「トモニホールディングス」は、どのような会社ですか。

「成長」と「つなぐ」の2つのコンセプトへのこだわり

経営理念　～　設立以来変わらぬ「想い」

お客さま第一主義	お客さま第一主義の経営を徹底し、それぞれのお客さまのニーズに応じた最良の金融サービスを提供します。
お客さまとともに**成長**	地域において持続的安定的な金融仲介機能を発揮し、地域のお客さまとともに**成長し続けます**。
信頼と安心の経営	グループとしてより強固な経営基盤を構築し、お客さまから信頼され安心して末長くおつきあいいただく存在になります。

トモニホールディングスが考える「当社グループのパーパス」

社員一人ひとりの成長を組織の**成長**につなげ、
各組織の成長をグループ全体の**成長**につなげ、
お客さま一人ひとり（一社一社）の成長を地域の**成長**につなげ、
各地域の成長を広域の**成長**につなげていくことにより、
すべてのステークホルダーの皆さまとともに**成長を紡いでいく。**

10年後の目指す姿

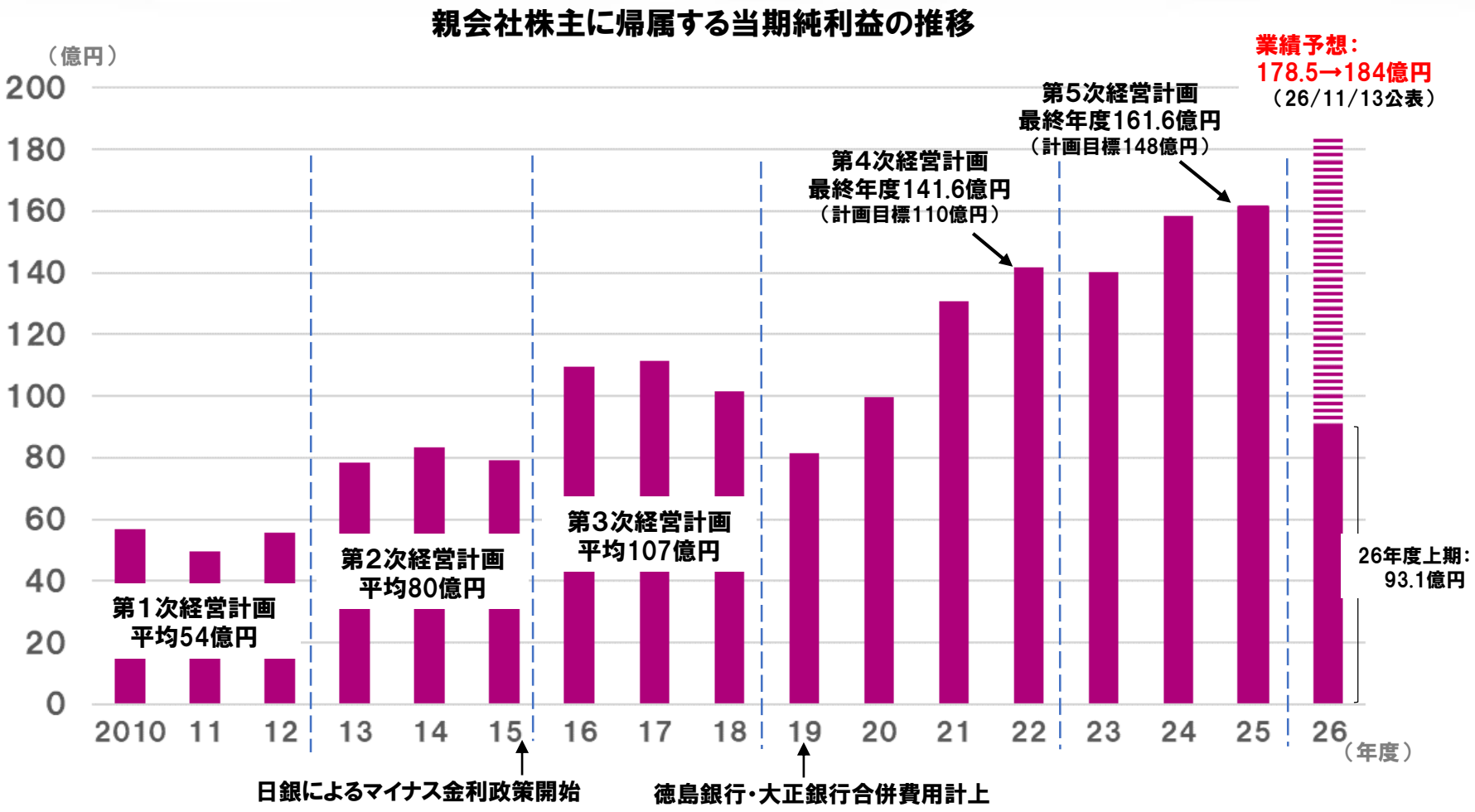
やっぱり“トモニ”を選んで
よかったと言われる
広域金融グループ

（注）当社グループのパーパス、10年後の目指す姿は、第5次経営計画において策定。

Copyright © 2026 TOMONY Holdings,Inc.

2.「トモニホールディングス」の成長戦略を教えてください。

人口減少が進む四国を主要な営業基盤としながらも、着実に成長してきた



Copyright © 2026 TOMONY Holdings,Inc.

2.「トモニホールディングス」の成長戦略を教えてください。

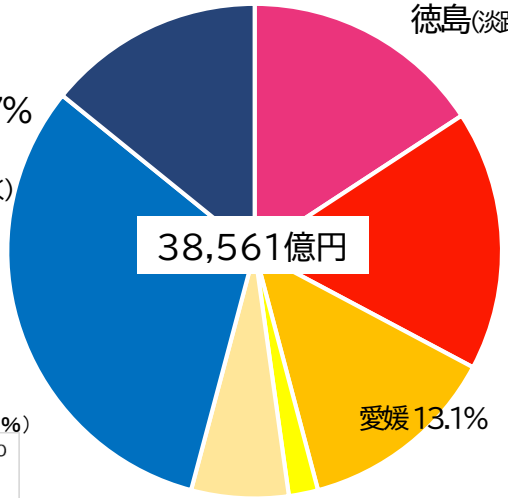
成長戦略:「広域金融グループ」として、「地域密着」×「都市部での取引拡大」の「2つの強力なエンジン」で成長をけん引

貸出金の地域別残高（単体合算、2025年度末）

都市部エリア

経済・市場規模の大きさを踏まえて、量的成長を目指すエリア

- 東京 14.2%
- 大阪地区 31.7%
  - ・大阪
  - ・兵庫（淡路地区除く）
  - ・京都



地元エリア

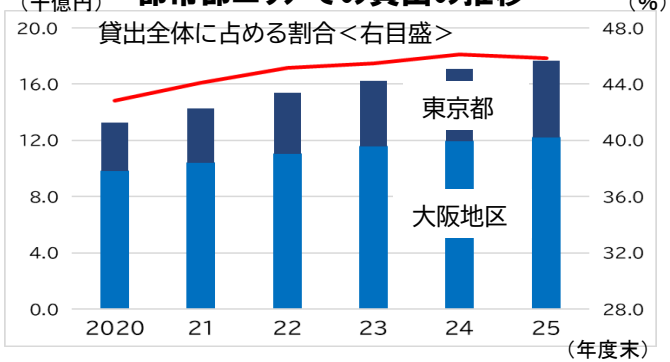
域外需要の取り込みも含め、多面的な取引で質的成長を目指すエリア

準地元エリア

新しい顧客・資金需要の開拓

強固な顧客基盤 地域との信頼関係

都市部エリアでの貸出の推移



地元県下のメイン先数の推移

		2020年	25	26
徳島大正	メイン先数	2,245	2,515	2,578
	（県内シェア・%）	20.19	21.25	21.26
香川	メイン先数	2,679	2,858	2,955
	（県内シェア・%）	18.20	18.38	18.42

（資料）東京商工リサーチ メインバンク調査

Copyright © 2026 TOMONY Holdings,Inc.

3.「第6次経営計画」では、成長を続けるために、どのような手立てを講じますか。

第6次経営計画（2026～28年度）の全体像　～さあ　“トモニ”進もう　次のステージへ～

5つの基本戦略	戦略の方向性
サステナビリティ戦略	➢ 地域価値創造への貢献、サステナビリティ等の開示強化
営業戦略	➢ 適正な貸出スプレッドの確保と戦略的なリスクアセットの伸長による持続可能な営業基盤の構築 ➢ 提案型営業・非対面チャネルの最適化、高付加価値サービスへのシフト
人財戦略	➢ 人的資本経営の実現、多様性と専門性の両立
オペレーション戦略	➢ DX・AI活用及びBPR推進による業務構造改革
ガバナンス戦略	➢ ROEを意識した経営の実現、ステークホルダーとの対話強化

2029年3月期計画

＜政策金利シナリオ＞
2026年7月　0.75％ ⇒ 1.00％
2027年1月　1.00％ ⇒ 1.25％

親会社株主に帰属する当期純利益
205億円

ROE（決算短信ベース）※
6.5％以上
次期計画以降、引続き8％を目指す

自己資本比率
9.5％程度

※　親会社株主に帰属する当期純利益÷（（期首自己資本＋期末自己資本）／2）、自己資本＝純資産の部合計－新株予約権－非支配株主持分

Copyright © 2026 TOMONY Holdings,Inc.

3.「第6次経営計画」では、成長を続けるために、どのような手立てを講じますか。

第6次経営計画では、2つの成長エンジンの出力を高めるべく「3つの強化・向上施策」に取組み

1 財務基盤の強化（バランスシートの質の改善）

健全性と成長余力を両立

- 成長性の高い分野へのリスクアセット積上げの中で、自己資本比率：9.5%程度を維持
- 有価証券の含み損解消による財務基盤の実質的な強化
- リスク管理の高度化と収益力の強化

リスクテイク能力の向上
成長投資余力の拡大

2 人財投資・育成の強化

従業員の力を成長の原動力に

- 経営計画とリンクした「従業員向け譲渡制限付株式（RS）」の導入
- 従業員のオーナーシップ向上
- 専門人財の育成
- 挑戦する組織風土の保持育成

人財の力の最大化
お客さまへの価値提供力向上

3 AI活用等による生産性の向上

人とデジタルの力を融合

- 生成AI等による業務効率化（企画、営業支援・事務等）
- データ活用による顧客理解と課題解決力の向上
- 事務集中化を含む業務プロセスの見直し・標準化
- 対面とデジタルの最適な組合せ

営業活動マンパワーの拡大
高付加価値業務へのシフト

「3つの強化・向上施策」により経営基盤を整備・強化し、「2つの成長エンジン」の出力を引上げ、持続的な成長・株主還元、地域への再投資を可能にする戦略

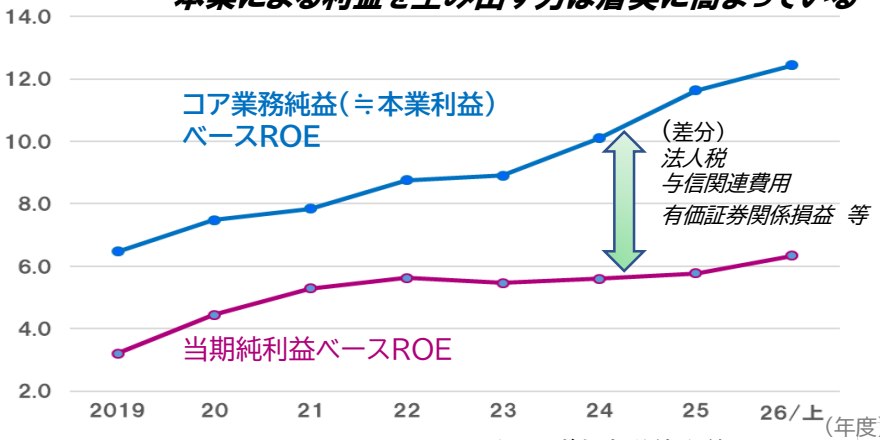
Copyright © 2026 TOMONY Holdings,Inc.

3.「第6次経営計画」では、成長を続けるために、どのような手立てを講じますか。

「3つの強化・向上施策」の実現に向け、具体的な取組みに着手

（1）財務基盤の強化

（%） ～ *本業による利益を生み出す力は着実に高まっている*



（注）いずれも単体合算

（2）人的投資・育成の強化

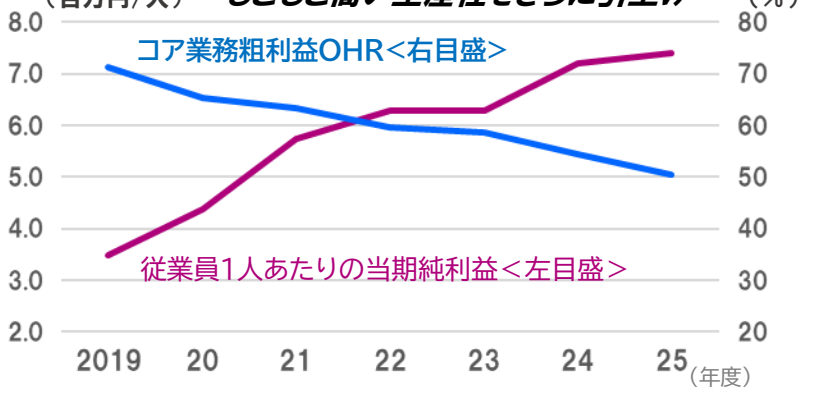
従業員向け譲渡制限付株式インセンティブ制度の概要

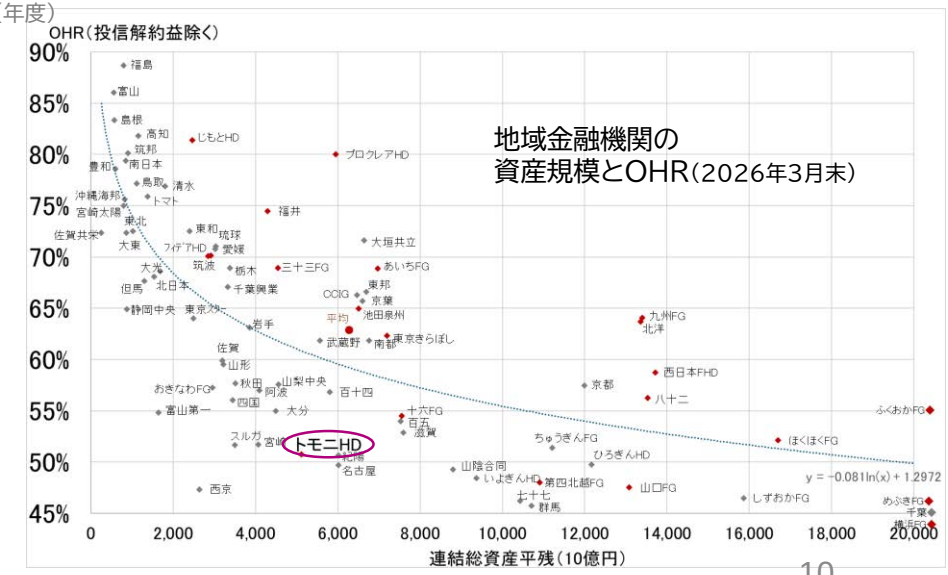
～ 経営計画とリンクした制度設計

付与対象者	トモニHDグループ各社の持株会会員
譲渡制限期間	3年程度
割当株式数	第6次経営計画期間中 管理職　100株 管理職以外　50株 再雇用者等　25株 経営計画期間ごとに見直し
初回付与日	2026年10月末

（3）生産性の向上

（百万円/人）*～もともと高い生産性をさらに引上げ*





Copyright © 2026 TOMONY Holdings,Inc.

4. 計画は順調に進んでいますか。

計画は順調にスタート。2026年度中間決算は過去最高益、通期予想を上方修正

（トモニホールディングス連結）

決算	（単位）	25年度中間	26年度中間	変化幅	参考
経常利益	（百万円）	9,858	13,345	3,487	通期予想（5月）を基準とした上期進捗率：50.1%
親会社株主に帰属する中間純利益	（百万円）	5,668	9,315	3,647	通期予想（5月）を基準とした上期進捗率：52.2%
自己資本比率	（%）	9.55	9.49	▲ 0.06	26/3月末：9.45%
ROE（当期純利益ベース）	（%）	3.98	6.31	2.33	
1株あたり中間純利益	（円）	29.38	48.37	18.99	
預金等残高	（億円）	46,312	48,040	1,728	26/3月末対比：＋910億円
貸出金残高	（億円）	37,491	39,147	1,656	26/3月末対比：＋680億円

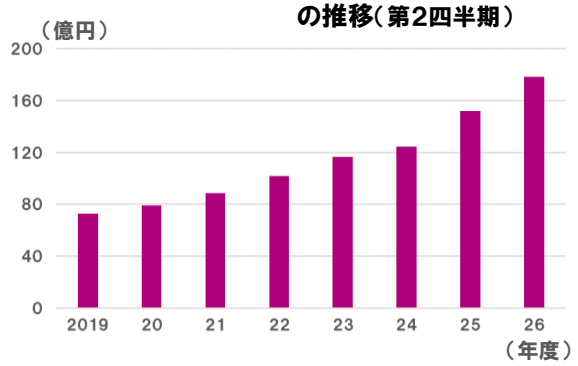
過去最高益

（2行単体・合算）

コア業務粗利益	（百万円）	32,551	35,195	2,644
経費（▲）	（百万円）	16,854	17,123	269
うち人件費	（百万円）	8,765	8,768	3
物件費	（百万円）	6,909	7,293	384
コア業務純益<除く投信解約損益>	（百万円）	15,219	17,851	2,632
業務純益	（百万円）	9,569	13,931	4,362
経常利益	（百万円）	9,674	13,133	3,459
中間純利益	（百万円）	5,596	9,215	3,619
与信関連費用（▲）	（百万円）	6,862	1,974	▲ 4,888
有価証券関係損益	（百万円）	443	▲ 3,529	▲ 3,972
本業利益（外貨調達コスト控除後）	（百万円）	9,577	11,646	2,069
コア業務粗利益OHR	（%）	51.77	48.65	▲ 3.12

（注）11月13日公表。

コア業務純益＜除く投信解約損益＞の推移（第2四半期）



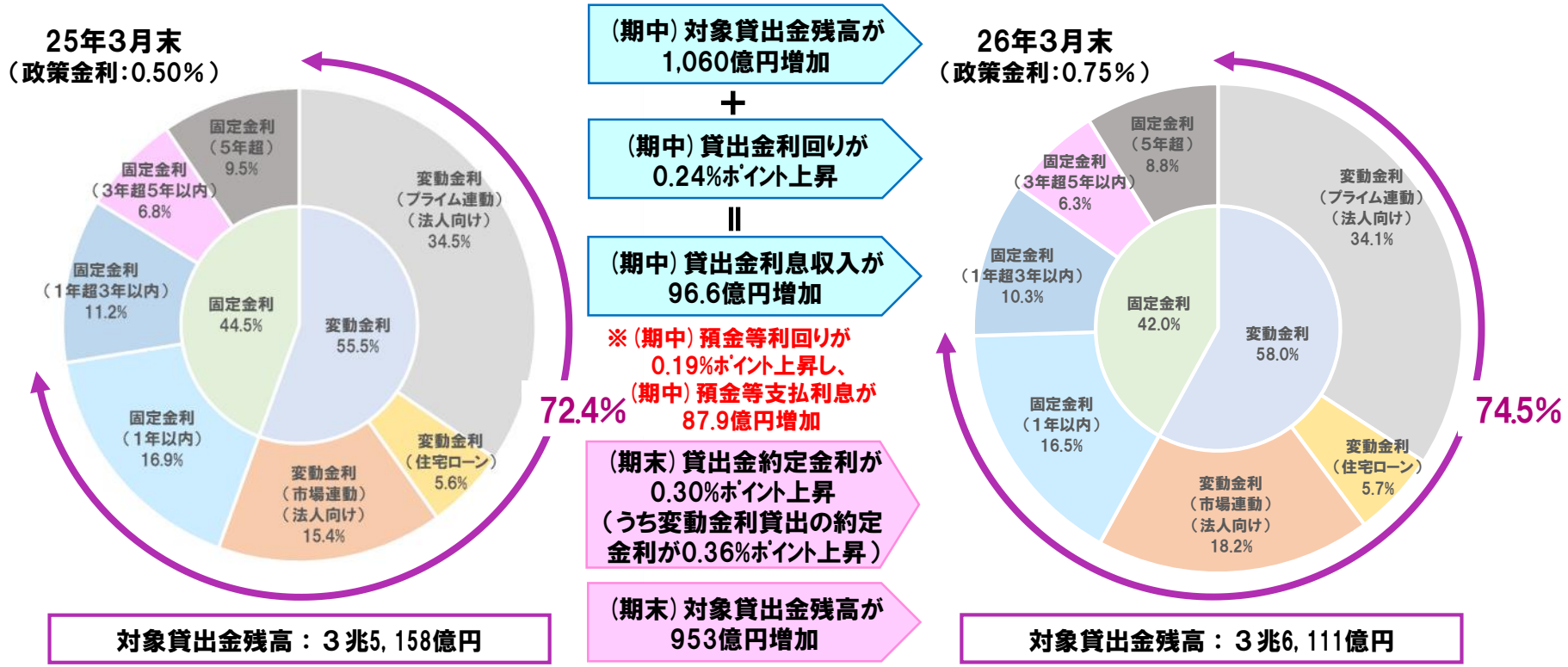
通期予想	（単位）	経常利益	当期純利益
5月公表	（百万円）	26,600	17,850
11月公表	（百万円）	27,000	18,400
増減率	（%）	1.5	3.0

Copyright © 2026 TOMONY Holdings,Inc.

4. 計画は順調に進んでいますか。

政策金利引上げをより速く貸出資産に反映できるよう取組んできたことが収益を下支え

円貨貸出金の金利種類別割合（単体合算）の推移



変動金利貸出及び1年以内に金利更改が到来する固定金利貸出の割合が2.1%ポイント上昇し、74.5%へ
市場金利の上昇に対する金利感応度が上昇

（参考）預貸金利鞘（国内）：24年度0.43%→25年度0.50%→26年度上期0.54%＜速報＞

Copyright © 2026 TOMONY Holdings,Inc.

4. 計画は順調に進んでいますか。

「2つのエンジン」は順調に機能を発揮



東京で（とくぎんサクセスクラブ）

新規開拓先数の状況

（先・%）

	25年上期	26年上期	構成比
新規開拓先数	1,160	1,183	100.0
都市部エリア	577	570	48.2
大阪地区	375	341	28.8
東京都	202	229	19.4
地元・準地元エリア	583	613	51.8

貸出金利の状況

（%）

	25年9月中	26年9月中	前年差
貸出金利	1.59	1.92	0.33
大阪地区	1.65	2.06	0.41
東京都	1.97	2.41	0.44

（注）各行の9月中の貸出約定平均金利を9月末の残高を用いて加重平均して算出。営業部門管理計数ベースの速報値

都市部エリアの貸出金の状況

（億円・%）

	25年9月末	26年9月末	増加額	前年度比
貸出金	37,574	39,264	1,690	4.5
都市部エリア	17,273	18,463	1,190	6.9
大阪地区	12,049	12,592	543	4.5
東京都	5,224	5,871	647	12.4

（注）計数は2行の単体合算値

手数料ビジネスの状況

（百万円・%）

役務取引等利益（単体合算）	2025年度	26年度上期	対前年度進捗率
役務取引等収益	13,076	7,080	54.1
為替業務	1,514	751	49.6
預貸業務	6,512	3,602	55.3
預り資産・証券業務	3,055	1,655	54.2
保証業務	146	72	49.3
法人ビジネスその他	1,849	1,000	54.1
役務取引等費用	4,376	2,270	51.9
役務取引等利益	8,698	4,810	55.3

（注）対前年度進捗率は、2025年度の合計に対して、26年度上期にどの程度計上（進捗）したかを計数化したもの



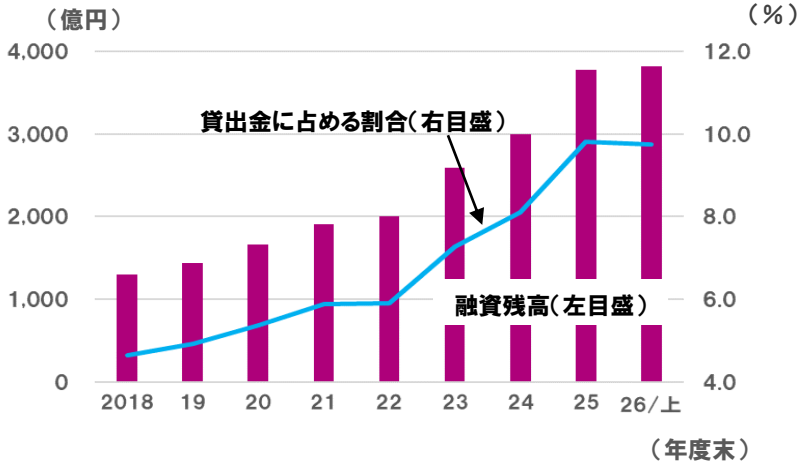
地元で（香川ニュービジネスクラブ）

Copyright © 2026 TOMONY Holdings,Inc.

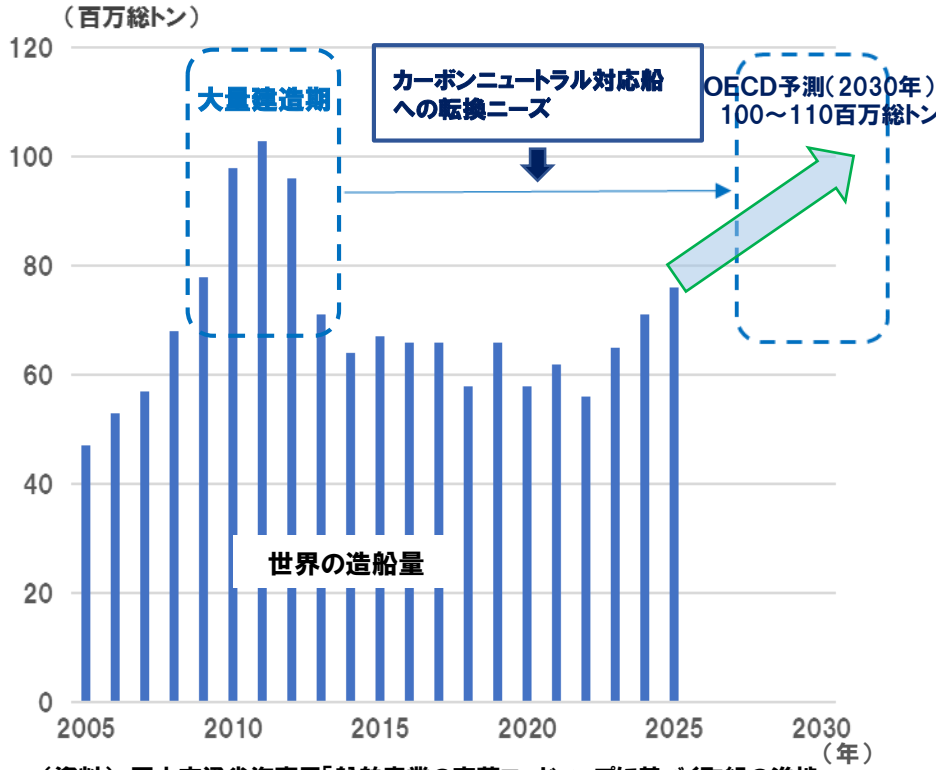
4. 計画は順調に進んでいますか。

加えて成長産業向け融資の拡大：瀬戸内の地域金融機関として、外航船融資への取組み

トモニG・外航船融資の状況



造船市場の動向と展望



（資料） 国土交通省海事局「船舶産業の変革ロードマップに基づく取組の進捗状況について」（2025年6月）

国土交通省「国土交通白書2024」資料11-7 及びIHSMarkit社データ

トモニGが融資する外航船の割合（2025年1月1日）



トモニG計：191隻（4.7％）
うち 徳島大正：125隻
香川　　：　66隻



（資料）UNCTAD「REVIEW OF MARITIME TRANSPORT 2025」ほか

Copyright © 2026 TOMONY Holdings,Inc.

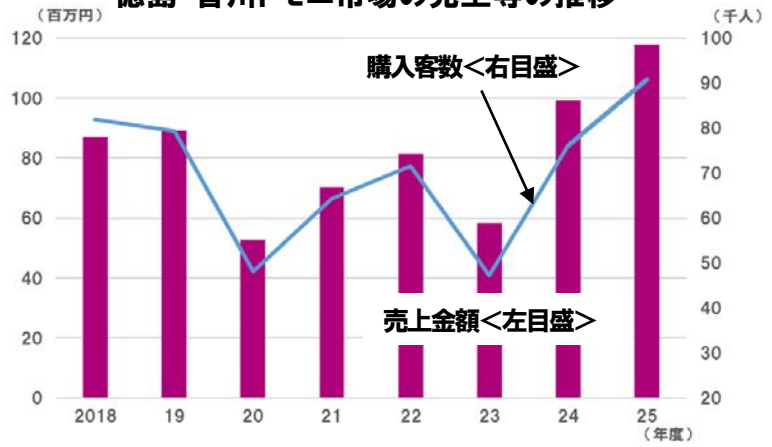
4. 計画は順調に進んでいますか。

地域の課題に積極的にチャレンジ ① ～ 地元企業の販路拡大をサポート

実店舗にて取引先の商品を販売
徳島・香川トモニ市場（ネーミングライツを活用）

2010年：東京・有楽町　東京交通会館
「徳島・香川トモニ市場～ふるさと物産館～」を開設
2025年度、売上げが初めて**１億円を突破！**

徳島・香川トモニ市場の売上等の推移



26年度上期売上金額：15.9%増



徳島・香川トモニ市場（東京・有楽町）

食品バイヤーとのマッチング機会創出
『食の魅力』発見商談会





第16回『食の魅力』発見商談会の様子

- 『食の魅力』発見商談会とは・・・
  全国の地域食品生産・製造・販売等を行う事業者と首都圏を中心とした食品バイヤーとのマッチング機会の創出を狙いとした第二地方銀行等が開催する商談会。
- 2026年７月10日に開催された第16回の商談会の参加者は、当社グループ取引先14社が出展、来場した食品バイヤーは2,957名！

Copyright © 2026 TOMONY Holdings,Inc.

4. 計画は順調に進んでいますか。

四国における後継者不在の企業の割合は55%。全国3番目

地域の課題に積極的にチャレンジ ② ～ 未来に向けて事業を進化・承継

徳島県の伝統文化を守る！

－供給制約の克服と24時間顧客接点の拡大による営業機会の最大化－

徳島大正銀行の取引先 **徳島市内の企業で阿波踊り用品販売店として国内トップシェア**	【課題】 ①資材高騰や職人の高齢化により商品仕入れが困難。 ②消耗品である足袋の問い合わせが営業時間外も多く、販売機会を喪失。

ビジネスマッチングのネットワークをフル活用。

【課題①】**新たな仕入先の確保**

・シモク頭（阿波踊りの鉦を叩くバチ。鹿の角で製造。）
⇒ジビエ肉加工企業を紹介。

【課題②】**営業時間外での商品販売（自動販売機設置）**

・足袋⇒自動販売機提案可能企業を紹介。



未来へつなぐ経営基盤の構築！

－最適な事業承継に向けた株式整理と株価の適正化－

香川銀行の取引先 **岡山県内の企業で消火器、防災機器の保守を行う**	【課題】 ①安定した収益状況のみに着目すれば、株価が高値となり、株式買取に係る資金負担から承継が難しくなる可能性。 ②株式は現社長の両親の他、親族外の取締役まで分散。円滑な事業承継に向けた株式集約が課題。

株式の承継に向けた課題整理から専門機関との連携、資金調達まで一貫して支援。

①中長期的な経営基盤の安定化に向け、専門機関と連携のうえ、**株価の適正化及び資金負担の適正化**を図るスキームを提案・構築。

②分散していた株式の**現社長個人への集約が実現**。株式買取資金は融資により対応。



Copyright © 2026 TOMONY Holdings,Inc.

4. 計画は順調に進んでいますか。

全国初の脱炭素条例を制定した徳島県（2016年）

地域の課題に積極的にチャレンジ ③ ～ 持続可能で豊かな地域社会の育成

脱炭素関連事業、一次産業の活性化など地域の持続的発展に資する事業を営む他業銀行業高度化等会社「とくぎんトモニリンクアップ株式会社」を設立（2025年2月4日）

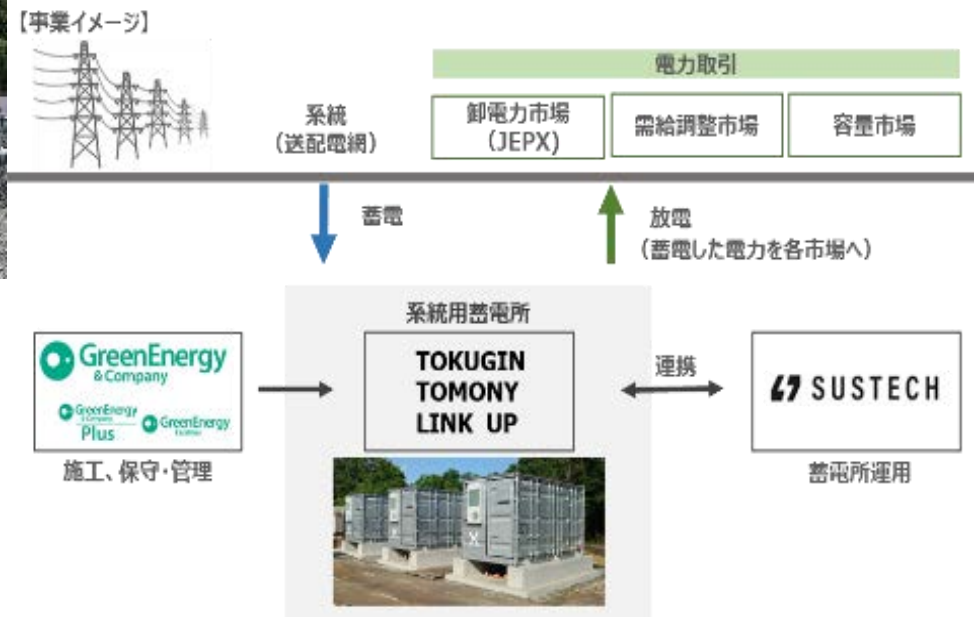
とくぎんトモニリンクアップが電力事業に参入





とくぎんトモニリンクアップが保有する系統用蓄電所

- 2026年８月、**系統用蓄電所**が竣工。
- 今後は関係機関と連携し、国内の卸電力市場、需給調整市場、容量市場において、電力の需給バランスの調整や電力市場への最適な電力供給を行う。



Copyright © 2026 TOMONY Holdings,Inc.

4. 計画は順調に進んでいますか。

香川県の介護人材の
有効求人倍率は3.46倍

地域の課題に積極的にチャレンジ ④ ～ 人口減少・人手不足の緩和

中小企業の採用環境が今後悪化していくことが予想される中、取引先の人材不足を緩和するため「特定技能外国人」の紹介業務を開始

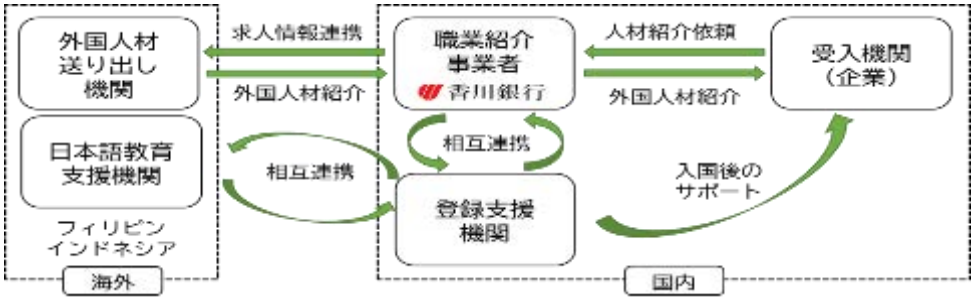
解決を目指す地域課題

- 少子化による人口減少や若者の県外流出等を背景とする人材不足

- 2018年から外国人技能実習生受入れを目的として、海外視察を実施。
- 2019年には香川県内の実習受入機関とも連携して、ミャンマーで24名の介護人材を採用。
  2024年までの6年間に、このルートでミャンマーから採用し、就労した人材は合計で200名超。
- 2024年、ルートの拡大を狙い、PT Bank J Trust Indonesia,Tbk.（インドネシアの銀行）と業務提携。
- 2025年、インドネシア国籍の特定技能外国人を紹介することを目的として、PT Jaya Indonesia Pandu Abhipraya と業務提携し、外国人材紹介業務を開始。
- 2026年、フィリピン国籍の特定技能外国人の紹介を追加するため、関係機関と業務提携。

外国人材紹介業務の概要

◆スキーム図



◆対象職種

介護、農業、宿泊、外食、飲食料品製造、工業製品製造等特定産業16分野



Copyright © 2026 TOMONY Holdings,Inc.

4. 計画は順調に進んでいますか。

地域社会とともに歩む取組み ① ～ 地域に笑顔を、地域に元気を

「防災士」資格の取得

- ✓ 徳島大正銀行では、管理職全員が防災士資格取得を目指し、順次講習を受講し取得中
  2026年10月末現在、資格取得者：167名
- ✓ 香川銀行やトモニシステムサービスでも、BCP関連部署の担当行員・社員が防災士を取得

「香川銀行GiraSol kagawa」
2024年の日本選手権、2025年の国スポに続き、ハンドボールの国内最高峰「リーグH（2025~26シーズン）」のレギュラーシーズン・プレーオフを制し**初優勝!!**
2026~27シーズンは**連覇に挑戦！**



講習会の様子









Copyright © 2026 TOMONY Holdings,Inc.

4. 計画は順調に進んでいますか。

地域社会とともに歩む取組み ② ～ 防災・防犯の面で地域を守る
業界初の「トモニ防災サポート定期預金」を開発！

地域のお客さまの資産とくらしを守りたい

「タンス預金」は、防災・防犯面でリスクがある。
↓
火災保険や地震保険でも基本的に付保対象外。
↓
「タンス預金」に伴う各種リスク（盗難・紛失・火災・水害等）に対する注意喚起を行うとともに、平時のうちに、預金による安全な資産管理の重要性についてもご提案できないか。

（参考）タンス預金のリスクを
訴える警察のパンフレット





✓ウェザーニュースの調査によれば、四国各県や和歌山県を除く関西各県の防災バック（非常持出袋）の準備率は、5割前後

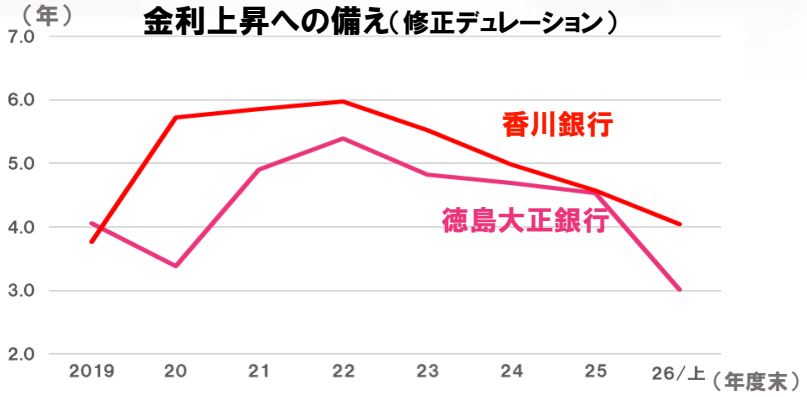
✓今回提供する防災グッズの選定には、防災士研修で得た知見も活用

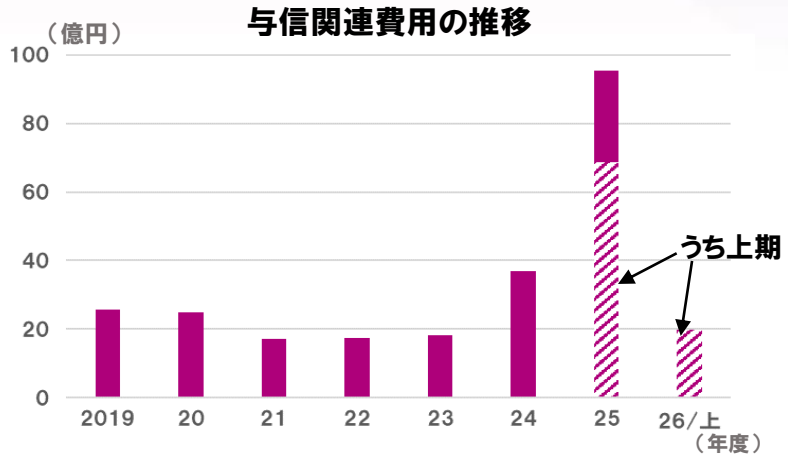


Copyright © 2026 TOMONY Holdings,Inc.

4. 計画は順調に進んでいますか。

一方で、バランスシートの質の改善は、有価証券を中心に道半ば。

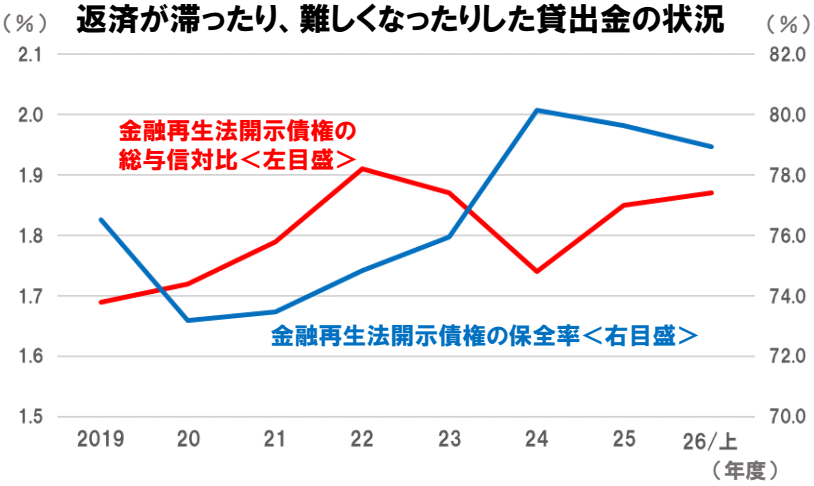




（百万円）

有価証券関係損益（単体合算）	25年度中間	26年度中間	前期比
有価証券関係損益	443	▲ 3,529	▲ 3,972
債券関係損益	▲ 2,566	▲ 3,778	▲ 1,212
うち債券売却損益	▲ 2,548	▲ 3,366	▲ 818
株式等関係損益	3,009	248	▲ 2,761
うち株式等売却損益	3,009	251	▲ 2,758
株式等償却（▲）	0	1	1
投信解約損益	477	218	▲ 259
合計	920	▲ 3,311	▲ 4,231

有価証券評価損益（単体合算）	25年度末	26年度中間	前期末比
その他有価証券	▲ 6,626	▲ 15,240	▲ 8,614
株　式	13,884	16,500	2,616
債　券	▲ 17,481	▲ 22,961	▲ 5,480
その他	▲ 3,030	▲ 8,779	▲ 5,749



Copyright © 2026 TOMONY Holdings,Inc.

5. 株主への還元について、どう考えていますか。

第5次経営計画で定めた「6つのお約束」

トモニホールディングスが、「やっぱり“トモニ”を選んでよかったと言われる広域金融グループ」を目指す中で、どのような価値提供を行っていくかということを、ステークホルダーに分け、「6つのお約束」として明示。

社会の皆さまとのお約束

私たちは、社会的責任を果たすことにより、持続可能な社会の実現への貢献に努めます。

地域の皆さまとのお約束

私たちは、金融機能の提供を通じて、地域経済の持続的な発展への貢献に努めます。

株主の皆さまとのお約束

私たちは、グループの持続的な成長と強固な財務基盤の形成を通じて、中長期的な企業価値の向上に努めます。

法人のお客さまとのお約束

私たちは、法人のお客さまの経営課題の解決に向けて、スピーディかつ最適なソリューションの提供に努めます。

従業員の皆さまとのお約束

私たちは、社員一人ひとりにとって、働きやすい、働きがいのある職場づくりに努めます。

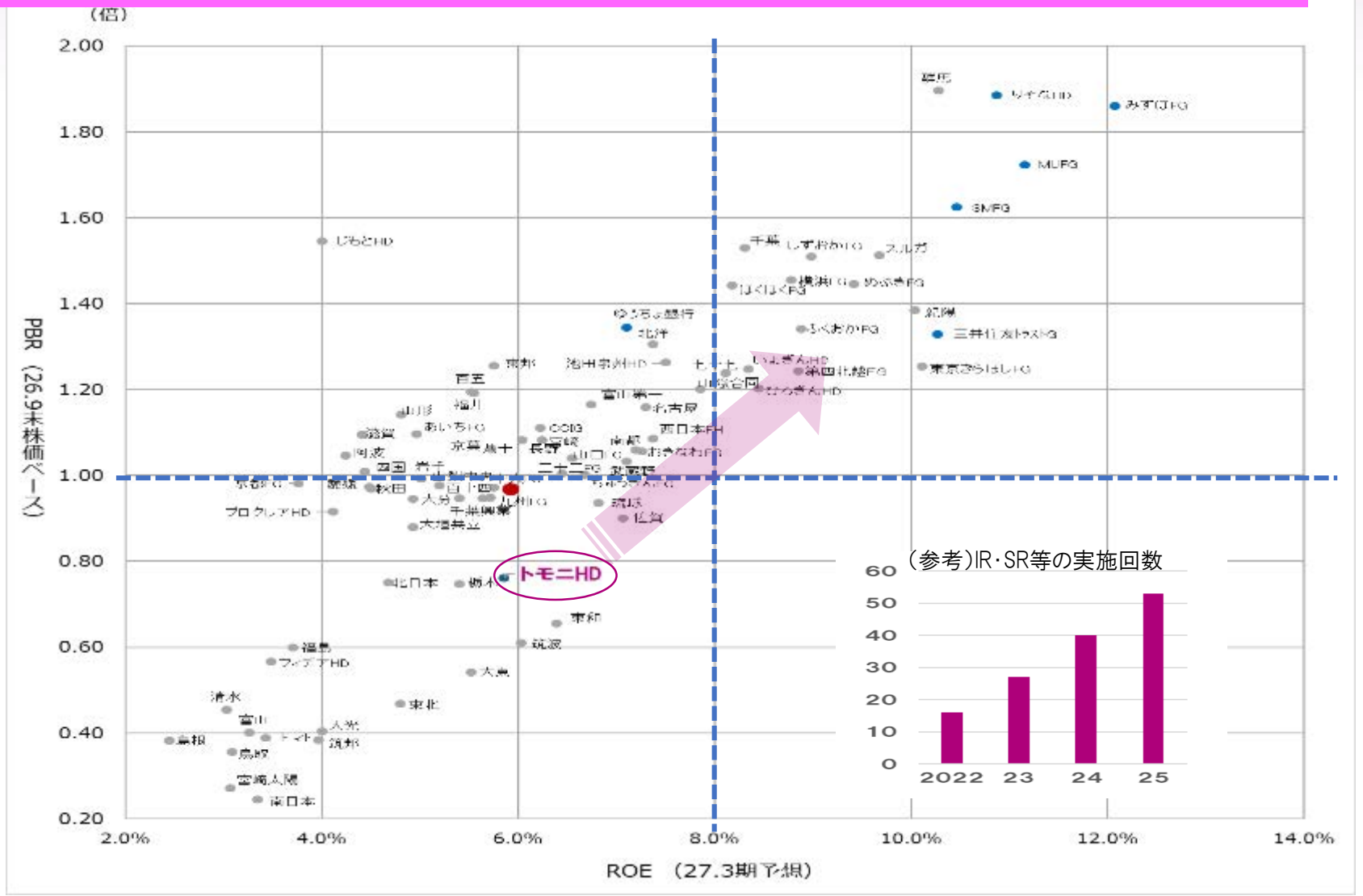
個人のお客さまとのお約束

私たちは、個人のお客さまの多様なニーズに対して、安心・安全で利便性の高い金融サービスの提供に努めます。

Copyright © 2026 TOMONY Holdings,Inc.

5. 株主への還元について、どう考えていますか。

トモニ株の課題：（当期純利益ベースの）ROEの持続的引上げ、PERの更なる改善



Copyright © 2026 TOMONY Holdings,Inc.

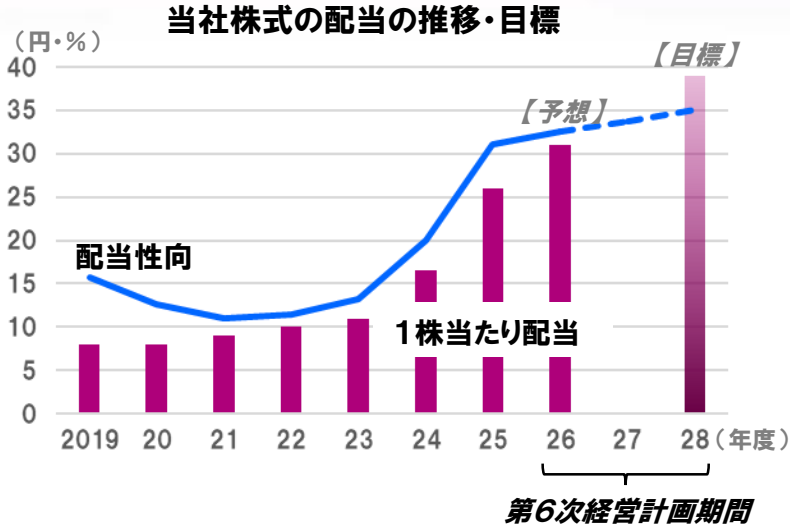
5. 株主への還元について、どう考えていますか。

資本政策:「成長投資」、「利益還元」、「内部留保」をバランスよく、より大きな形で実現し、更なる企業価値の向上に取り組んでいく。

従来の株主還元方針(2025年2月公表)

- 配当性向30%以上(DOE1.6%以上)を目標。
- 累進的配当の考えに基づき、利益の状況や自己資本の状況等を踏まえつつ配当水準の安定維持に努める。

- ✓ *「自己資本比率:9.5%程度、ROE:6.5%以上」の下での利益還元*
- ✓ *「累進的配当の考え方」を踏襲*
- ✓ *「配当性向」に加え、柔軟かつ機動的な自己株式取得を前提に、「総還元性向」を加えた2つの指標を軸に、利益還元の考え方を整理*



第6次経営計画期間中における株主還元方針(2026年5月公表)

- **利益成長を通じた配当水準の安定的かつ持続的な維持・向上を図るとともに、柔軟かつ機動的な自己株式取得を実施。**
- **計画最終年度(2028年度)までに、配当性向35%以上、総還元性向40%以上へ段階的に引き上げていく。**

⇒ 上期決算の順調なスタートを踏まえ、2026年度の年間配当金を増額した(年間30円→31円<配当性向:32.5%>)ほか、100万株を上限とする自己株式取得を決定・公表<総還元性向:38.5%程度>。

Copyright © 2026 TOMONY Holdings,Inc.

5. 株主への還元について、どう考えていますか。

参考：四国に本店を置く東証プライム上場企業（19社中、時価総額1,000億円以上の15社）

企業名	本店所在地	時価総額	株価	配当利回り
ユニ・チャーム	愛媛県四国中央市	20,217億円	1,085.5円	2.03%
いよぎんホールディングス	愛媛県松山市	8,985億円	2,867 円	2.79%
四国電力	香川県高松市	3,897億円	1,878 円	2.93%
三浦工業	愛媛県松山市	3,508億円	2,800 円	2.64%
阿波銀行	徳島県徳島市	3,298億円	1,649 円	2.55%
ジャストシステム	徳島県徳島市	3,028億円	4,715 円	0.64%
百十四銀行	香川県高松市	2,724億円	2,379 円	3.78%
フジ	愛媛県松山市	1,830億円	2,108 円	1.42%
大王製紙	愛媛県四国中央市	1,757億円	1,040 円	1.35%
トモニホールディングス	香川県高松市	1,701億円	879 円	3.53%
四国化成ホールディングス	香川県丸亀市	1,602億円	1,786 円	2.24%
タダノ	香川県高松市	1,578億円	1,219 円	2.79%
四国銀行	高知県高知市	1,288億円	3,040 円	2.83%
愛媛銀行	愛媛県松山市	1,112億円	2,822 円	2.06%
四電工	香川県高松市	1,102億円	2,261 円	4.42%

（注）11月20日現在・終値ベース

Copyright © 2026 TOMONY Holdings,Inc.

＜本説明資料に関するお問合せ先等について＞



トモニホールディングス株式会社
経営企画部
TEL：087-812-0102

本資料に記載の見通し、今後の予測、戦略等に関する情報は、本資料作成時点において、当社が合理的に入手可能な情報に基づき、通常予測し得る範囲でなした判断に基づくものです。しかしながら、現実には、予測し得ないような特別の事情の発生又は通常予測し得ないような結果の発生等により、本資料記載の見通しとは異なる結果が生じるリスクを含んでおります。

当社といたしましては、投資家の皆さまにとって重要と考えられるような情報について、その積極的な開示に努めてまいりますが、本資料記載の見通しのみに全面的に依拠してご判断されることはくれぐれもお控えくださるようお願いいたします。

なお、いかなる目的であっても、本資料を無断で複写・複製、又は転送などを行わないようお願いいたします。

Copyright © 2026 TOMONY Holdings,Inc.